

情報BOX

安全・防災

★郡山消防本部からのお知らせ

★林野火災注意報・警報

令和8年1月1日から林野火災注意報・警報の運用が始まりました。注意・警報の発令中は、たき火など屋外での「火の使用が制限」されます。発令状況は、組合ウェブサイト、自治体公式SNS、防災無線、消防車両等による周知を行います。

火を使用の前に、発令状況の確認をお願いします。

▼発令対象期間

1月～5月の間

★たき火と火災は紙一重

空気が乾燥し風が強い日が多いことから、たき火が原因の火災が多発します。自宅などで生活ごみを燃やす行為は禁止です。生活ごみは、燃えるごみとして処分するなど、決められたルールを守りましょう。

なお、農作業の一環としてやむを得ずたき火をする場合、次の点に注意しましょう。

▼最寄りの消防署に事前に連絡する。

▼風の強い日は行わない。

▼必ず消火の準備をしてから行う。
▼完全に消えるまでその場を離れない。

問 消防本部予防課

☎ 0247-92318172

暮らし

薪ストーブをご使用の皆さんへ

最近、薪ストーブの煙や灰臭い原因による相談が、町に多く寄せられています。

ご近所トラブルの原因にもなりかねませんので、使用の無い時期に、次を参考に適正な管理をお願いします。

▼薪の乾燥と管理

湿った薪を使うと、煙が多く発生します。十分に乾燥した薪を使用し、煙の発生を最小限に抑えましょう。

▼定期的なメンテナンス

薪ストーブの排気システムが正常に働いているか、定期的に点検・メンテナンスを行い、煙やガスが適切に排出されるように保ちましょう。

問 住民課生活環境グループ

☎ 0247-621147



～ごみ箱に捨てる前に1度考えてみませんか？～

SDGs コラム Papperskorg (ペペルスコルク) Vol.23



「衣装ケースでできるキエー口体験講座」を開催しました

—「生ごみのない暮らし」に向かって、キエー口から輪を広げましょう—

2月21日、三春町役場で「衣装ケースでできるキエー口体験講座」を開催し、15名が参加されました。

当日は、みはるコンポスト部の小橋氏からの体験談や衣装ケース型キエー口の作り方や使い方を学びました。

キエー口を使うことで、ごみ処理コストの抑制と環境負荷の低減、そして町民自身のごみ出しが楽になり、袋の使用枚数が減ることによって家計にやさしい取組みに繋がります。ご興味のある方は、キエー口をぜひ、体験してください。



キエー口
取扱説明書
(参考)



小橋氏からの体験談

小橋氏はコンポストやキエー口を使って、台所から生ごみをゼロに。生ごみ堆肥を使って、野菜づくりもしています。

「キエー口」とは、土の中にいる微生物の力によって、生ごみを分解・消滅させる非電動式生ごみ処理容器です。コンポストとは違って、生ごみが堆肥とならず、土の量があまり変わらないのが特徴です。

また、正しく使用すれば、虫や臭いが発生しにくく、取り組みしやすい生ごみ処理容器となります。

1番気になる虫や悪臭の発生については、乾いた土を最後に上からかけてあげることで抑制できます。



キエー口使い方講座

広告欄

広告欄